



RapidPro: 初期設定された製品が開発の開始時間の短縮を可能に

The Right System for Each Application

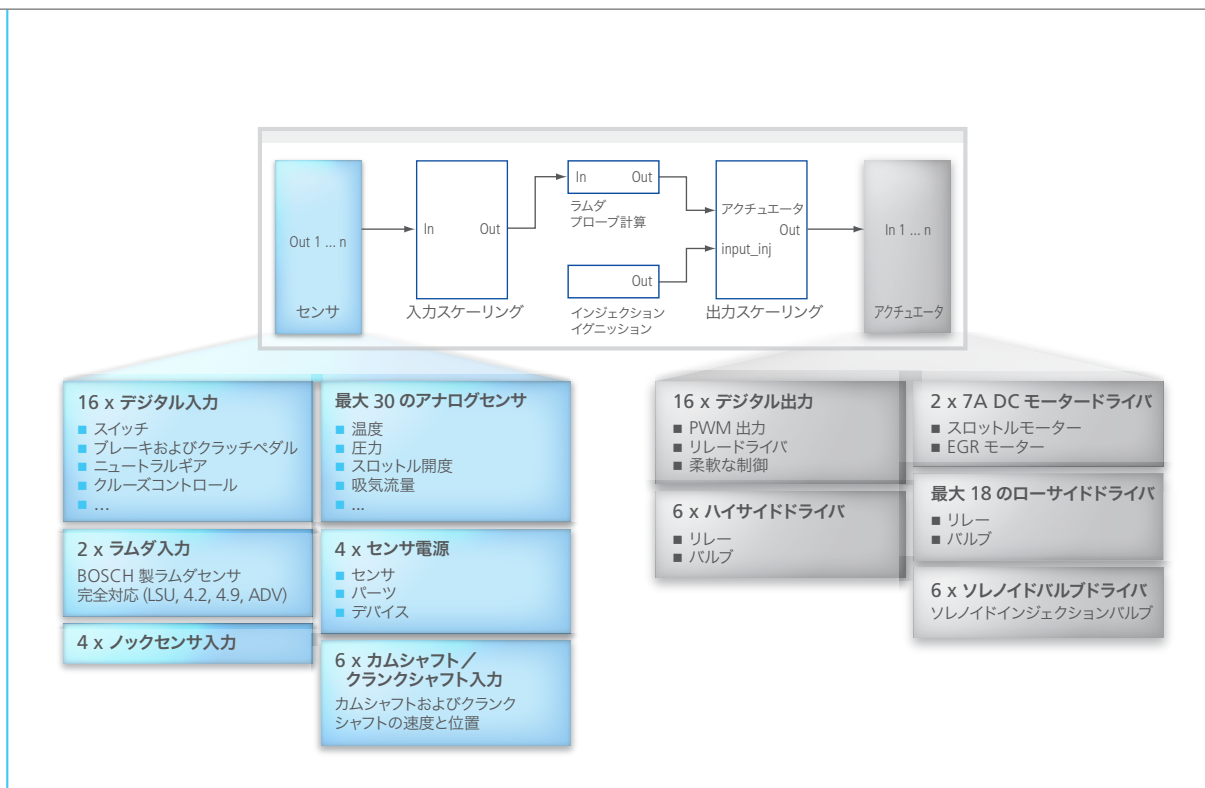
効率の向上と利便性：

電動化されたドライブトレイン用の ECU 開発に、設定済みの RapidPro システムを使用できるようになりました。dSPACE は、その他の適用分野にも最適なサポートを提供しています。

小型で車載可能

小型でモジュール方式の dSPACE RapidPro ハードウェアは、車載センサおよびアクチュエータを dSPACE プロトタイプリングシステムに接続するためのシグナルコンディショニングおよびパワーステージを提供します。

RapidPro システムは実車での使用に最適であるだけでなく、テストベンチやラボでの使用にも最適なシステムです。RapidPro モジュールは設定が容易で、さまざまな組み合わせが可能であるため、プロジェクトの要件変更に対応する高い



最大 6 気筒までのエンジンに対応したエンジン制御設定を使用すれば、新しい燃焼プロセスの開発が大幅に容易になります。開発者は、dSPACE Simulink® I/O モデルを使用することにより、センサおよびアクチュエータをすばやく簡単に接続できます。

初期設定済みで、しかも高い柔軟性：この新しい設定はさまざまなアプリケーションに対応しており、モジュール方式で拡張することができます。

柔軟性が提供されます。したがって、dSPACE のお客様はプロトタイプングシステムのコストのかかる自社開発を行う必要はありません。

標準的な初期設定

柔軟に設定できる RapidPro ハードウェアに新しいラインアップが追加され、特定の開発作業に合わせた初期設定済みの RapidPro 製品の提供を開始しました。この初期設定済みの新 RapidPro は、トランスミッション制御などの一般的な開発タスクをサポートするだけでなく、ドライブトレインの電動化などの最新の開発動向や、エンジンの燃費と排出ガスのさらなる最適化などもサポートしています。

これらの初期設定は、センサおよびアクチュエータをユーザーアプリケーションで統合するために役立つように、特定用途に合わせて開発された総合ソリューションです。初期設定の利点として、開発者はシステムをセットアップおよび設定する必要がなく、本来の作業であるコントローラ開発に完全に集中できます。

この初期設定では、以下のような最新の自動車開発分野をカバーしています。

■ エンジン制御設定：

たとえば、新しい燃焼プロセスの開発をサポートする、最大 6 気筒までのエンジンに対応したエンジン制御設定

■ 車体エレクトロニクス設定：

多数のデジタル入出力を処理する一般的な車体エレクトロニクスシステム向けの設定

■ シャシー制御設定：

加速、ホイールスピード、車体の傾き（ローリング）などの一般的なセンサに対応した接続オプションを備えたピークルダイナミクス向けの設定

■ トランスミッション制御設定：

バルブまたは DC モーター制御のための柔軟なパワーステージを備えた新しいトランスミッション機能向けの設定

■ モーター制御設定：

各種モーターのプロトタイプング段階における柔軟なパワーステージとして使用可能

ユーザーの要件が事前設定と異なる場合でも、RapidPro システムは要件に合わせて柔軟に調整および拡張することができます。

設定済みの I/O モデル

dSPACE は、RapidPro 初期設定済み製品専用に設計された Simulink® I/O モデルも提供しています。この I/O モデルを使用すると、接続するセンサおよびアクチュエータ向けにあらかじめ設定されている入出力信号が提供されます。■